

(あて先) 豊中市保健所長

届出者 住所
氏名
(法人にあっては、主たる事務所の所在地、
その名称及び代表者の氏名)

特定建築物の事前審査に関する書類について

下記建築物が「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」第2条に規定する特定建築物に該当するので、建築物内環境衛生の建築確認申請時指導要領に基づく空気調和設備及び排水設備等計画書を届け出ます。

記

建築物名称 (仮称)			
建築場所			
建築主	氏名		
	住所		
工事着手予定年月日			
延べ面積	m ²	主要用途	
設計対象人員	人	階数	地上 階 地下 階

※ 届出者は、建築主です。

空気調和設備及び給排水設備等 計 画 書

1 空気調和設備

(1) 空気調和設備・機械換気設備の概要

管理方式	<input type="checkbox"/> 空気調和設備	<input type="checkbox"/> 機械換気設備	<input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> 中央空調	<input type="checkbox"/> 中央換気	<input type="checkbox"/> 個別空調 <input type="checkbox"/> 個別換気
制御範囲	<input type="checkbox"/> 全体制御	<input type="checkbox"/> ゾーン制御	<input type="checkbox"/> 個別制御
空気調和機の種類	主方式 <input type="checkbox"/> 併用の方式 <input type="checkbox"/>		

(2) 空気調和設備の内容

ア 自動制御装置等

ア 自動制御装置等		要領
自動制御装置の有無	有（検知装置－温度・湿度・二酸化炭素）・無	1-2-3, 1-7
風量測定孔の有無	有（ ）・無	1-2-4
全熱交換器の有無	有（型式 ）・無	1-5
風道の点検口の有無	有（ ）・無	1-2-7

イ 居室の換気等

居室の主たる換気方法	第（1・2・3）種 換気方式
厨房等の換気	全排気・その他（ ）

以下については、室内ユニットを除く設備について記載し、設置基数が多い場合は、別紙を添付してください。

ウ 冷暖房熱源・冷却塔

		<系統 No >	<系統 No >	
冷房熱源	機器種類			
	冷房能力		kW	kW
暖房熱源	機器種類			
	暖房能力		kW	kW
冷 却 塔	機器種類	開放式（直交流・向流） ・密閉式	開放式（直交流・向流） ・密閉式	1-6-3
	設置場所			1-6-1
	点検清掃スペース	有 ・ 無	有 ・ 無	1-6-2
	使用水			1-6-4

エ 空気調和機及び関連設備等（空気調和を以下「空調」という。）

	<系統 No >	<系統 No >	要 領
【空調機】			
型 式			/
対象用途と階数			
冷房能力	kW	kW	
暖房能力	kW	kW	
対象床面積と気積	m ² m ³	m ² m ³	
対象人員	人	人	
点検清掃スペース	有 ・ 無	有 ・ 無	1-2-1
【空調設計条件】 ※二酸化炭素濃度、浮遊粉じん濃度、必要加湿量の計算書を添付してください			
冷暖房 外気温湿度	冷 °C %・暖 °C %	冷 °C %・暖 °C %	1-4-1
室内温湿度	冷 °C %・暖 °C %	冷 °C %・暖 °C %	
室内二酸化炭素濃度	ppm	ppm	1-1-1
室内浮遊粉じん	mg/m ³	mg/m ³	1-3-1
【給気】			
給気量	m ³ /h	m ³ /h	1-1-1
外気取入量	m ³ /h	m ³ /h	1-3-1
一人当外気取入量	m ³ /h・人	m ³ /h・人	
換気回数	回/h	回/h	
【外気取入口】			
高 さ	m	m	1-1-2
汚染源からの距離	m	m	
位 置			
付近の汚染源	有 () ・ 無	有 () ・ 無	
【除じん機】			
フィルタ種類			1-3-1
適応粉じん粒径	μ m	μ m	
除じん効率と方式	% (法)	% (法)	
点検清掃スペース	有 ・ 無	有 ・ 無	1-3-2, 3
【加湿器】			
加湿方法			
加湿能力	kg/h	kg/h	1-4-1, 2
点検清掃スペース	有 ・ 無	有 ・ 無	1-4-3
使用水			1-4-5

2 給水設備

(1) 貯水槽

ア 給水設備の概要

水源の種別	上水[上水道・簡易専用水道・小規模貯水槽水道・専用水道(受水)・ 専用水道(自己水)・特設水道]・井戸水・他()
給水方法	高置水槽・加圧ポンプ・増圧給水方式・直圧・他()
貯水槽の数	[受水槽 基] [高置水槽 基] [基]
設計使用水量	m ³ /日

イ 給水設備の内容 (設置基数が多い場合は、別紙を添付してください。)

		受水槽 No		高置水槽 No	要領
【槽の状況】					
有効容量		m ³	m ³	m ³	2-1-1
槽の材質		FRP・他()	FRP・他()	FRP・他()	2-1-1
六面点検構造		可 ・ 否	可 ・ 否	可 ・ 否	2-1-2, 12
貯水槽内の構造		槽式	槽式	槽式	2-1-17
完全な水抜き及び 停滞水防止構造		有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	2-1-5, 6
マンホール	構造				2-1-3, 4
	立上げの 高さ	cm	cm	cm	
【槽の配管状況】					
水抜管の有無		有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	2-1-8
オーバーフロー管		有(φ)・無	有(φ)・無	有(φ)・無	2-1-8
吐水口空間距離		cm	cm	cm	2-1-7
排水口空間距離 (オーバーフロー管・水抜管)		cm	cm	cm	2-1-8
通気管		有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	2-1-9
各管の防虫網		有()・無	有()・無	有()・無	2-1-9
【設置状況】					
設置場所					2-1-2, 11
防護設備		有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	2-1-15, 16

ウ その他の設備

満減水警報装置		有 ・ 無		2-1-20
給水管材質	主管			2-3-3
	枝管			
消毒設備		有(型式:)・無	、使用薬品:)	

(2) 給湯設備

ア 給湯設備の概要

給湯方式と熱源	中央式(貯湯・循環) 局所式(貯湯・瞬間) 他()
---------	----------------------------

「中央式」の場合、以下の項目記入

		要領
給湯の使用用途		3-1-1
貯湯槽の設置場所		3-2-1
給湯管の材質		3-2-5
逃し管の開放位置		3-2-7
膨張水槽の設置		3-2-9

イ 換気措置

換気設備の設置内容		3-2-10
-----------	--	--------

3 雑用水設備 有無(あり : なし)

「ある」場合、以下の項目に記入

(1) 雑用水設備の概要

使用する原水	再生水・井戸水・雨水・工業用水・他()	4-1-1
使用目的	散水・修景・清掃用水・便器洗浄水・他()	
必要水量	m ³ /日	
検水栓	有(設置場所:)・無	4-2-5

(2) 排水再利用設備及び消毒設備等

処理の方法	砂ろ過・生物処理方式・膜処理方式・その他()	4-2-1
能力	m ³ /日	
消毒処理設備	有(型式: 、使用薬品:)・無	4-2-1
設置場所		4-2-6
換気設備の有無	有()・無	4-2-6
便器洗浄水		4-2-7

※雑用水を用いる便器には、手洗い付きの洗浄用タンクを使用しない。また、温水洗浄式便座を使用する場合は、洗浄装置には上水を使用する。

(3) 雑用水道貯水槽及び消毒設備等

	No	No	
設置場所			4-2-1
構造			
槽の容量	m ³	m ³	
消毒処理設備	有(型式: 、使用薬品:)・無		
ろ過設備	有()・無		
補給水設備	有()・無		4-2-2

(4) 誤飲、誤使用の防止		要領
給水栓の誤飲 誤使用防止措置	有 () ・ 無	4-2-3
配管の識別方法	有 () ・ 無	4-2-4

4 排水設備

(1) 排水設備の概要

排水槽の数	【汚水槽 基】【雑排水槽 基】【湧水槽 基】	5-1-1
排水流入量の設計値	m ³ /日	5-1-2
排水の処理方法	下水道 ・ 浄化槽 ・ 他 ()	

(2) 排水設備の内容 (設置基数が多い場合は、別紙を添付してください。)

使用用途	汚水槽 No	雑排水槽 No		湧水槽 No	
【槽の状況】					
設置場所					
槽の容量	m ³	m ³		m ³	5-1-3
計画排水流入量	m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日	m ³ /日	5-1-2
排水槽の構造 (材質等)					5-1-3
マンホール					
槽底部の勾配					
吸込みピット	有・無	有・無	有・無	有・無	
【その他の設備】					
排水ポンプの台数	台	台	台	台	5-2-1
満水警告装置	有・無	有・無	有・無	有・無	5-2-5

(3) 排水関連設備

【排水管】		
点検口・掃除口	有 ・ 無	5-3-2
【排水トラップ】		
排水トラップの設置	有 (封水深 cm) ・ 無	5-4-1
掃除等が容易にできる構造	可 ・ 不可	5-4-2
【通気管】		
通気管の設置	有 ・ 無	5-5-1
【阻集器】		
阻集器の設置	有 ・ 無	5-6-1
有効な分離性能	有 ・ 無	5-6-2, 3
点検、清掃が容易に行える構造	可 ・ 不可	
【排水ます】		
排水ますの設置	有 ・ 無	5-7-1
清掃が容易に行える構造	可 ・ 不可	

【浄化槽】		
保守点検が容易な設置場所	有 ・ 無	5-9-2

5 清掃、廃棄物・再利用物保管場所

(1) 清掃		要領
清掃従事者の休憩室	有 (階 m ²) ・ 無	6-1-1
の 更衣室	有 (階 m ²) ・ 無	
資機材倉庫	有 (階 m ²) ・ 無	6-1-2
清掃作業用 給排水設備	有 () ・ 無	6-1-3
電気設備	有 () ・ 無	6-1-4
窓ガラスの清掃設備	有 () ・ 無	6-1-5

(2) 廃棄物・再利用物保管場所

ア 廃棄物・再利用物保管等の概要

廃棄物・再利用物保管の場所		6-2-1, 2
厨芥類用保管設備	有 (冷蔵・冷房・低温保管・他 ()) ・ 無	6-2-3

イ 廃棄物・再利用物保管施設

廃棄物の種類	可燃性ゴミ	厨芥類	不燃性ゴミ	再利用物	
排出量の設計値	kg/日	kg/日	kg/日	kg/日	
【保管場所】					
面積	m ²	m ²	m ²	m ²	6-2-1
密閉区画構造	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	6-2-3
床と壁の床					
材質 壁					
床排水の勾配	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	
給排水設備	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	
給排気設備	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	
照明設備	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	
防そ防虫構造	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	

6 防虫・防そ構造

建物の全般的な防虫対策	窓、通風口、出入口、排水設備等の建築物内部に衛生害虫が侵入しないような構造とする	7-1-1
	有 ・ 無	
建物の全般的な防そ対策	配管等の貫通部分、ドア等出入口、排気口、排水口等の建築物内部にねずみが侵入しないような構造とする	7-2
	有 ・ 無	

7 化学物質対策

ホルムアルデヒド対策	設計時における室内空気中のホルムアルデヒド濃度が指針値以下になるような放散量の少ない建材、什器等を選定する	8-1-1
	有 ・ 無	
	施工時における室内ホルムアルデヒド濃度の低減を図るため換気による放散対策を講じる	8-1-2
	有 ・ 無	

8 その他の審査事項

(1) 結露防止等

結露防止等対策	有 (断熱工法・結露受け・他 ()) ・ 無	10-1-1, 2
---------	--	-----------

(2) 管理人室・管理用図書

専用の管理人室等	有 (階 m ²) ・ 無	10-2-1
管理用資材置き場等	有 (階 m ²) ・ 無	10-2-2

9 特定建築物の概要

階数	床面積	居室数	特定用途及び面積		特定用途以外の用途及び面積	
				㎡		㎡
	㎡			㎡		㎡
	㎡			㎡		㎡
	㎡			㎡		㎡
	㎡			㎡		㎡
	㎡			㎡		㎡
計	延べ ㎡			延べ ㎡		延べ ㎡

設計図書の添付（添付の図書について「○」を記入）

建築一般図書	配置図		平面図		立面図		断面図	
空調設計図書	系統図		平面図		機械リスト (仕様書)			
給排水設備設計図書		系統図		平面図		機械リスト (仕様書)		
雑用水設備設計図書								
廃棄物保管場所設計図書								
給水量計算書等関係書類								
空気環境に 関する計算書	二酸化炭素		浮遊粉じん			加湿量		

- ※1 建築一般図書の平面図等に、清掃、廃棄物、再利用保管場所を記載すること。
- ※2 空調設計図書に、外気、排気、給気、還気の導線について、色分けして表示すること。
- ※3 給水系統排水系統に、給水、排水の導線について、色分けして表示すること。
- ※4 雑用水設備に、給水、排水の導線について、色分けして表示すること。

連絡先

会社名	
氏名	
連絡先	TEL
	メール